

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究し、それぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め、裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダル産業 2. ブライダルマーケット 3. 挙式、披露宴マーケット 4. ハネムーン(アフターブライダル)マーケット 5. 新婚生活マーケット 6. 演出商品研究 その① 7. 演出商品研究 その② 8. 演出商品研究 その③ 9. アイテム研究 その① 10. アイテム研究 その② 11. アイテム研究 その③ 12. 企業研究 その① 13. 企業研究 その② 14. 企業研究 その③ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究し、それぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め、裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. フォト・映像演出 研究 その① 2. フォト・映像演出 研究 その② 3. フォト・映像演出 研究 その③ 4. 音響演出研究 その① 5. 音響演出研究 その② 6. 音響演出研究 その③ 7. ペーパーアイテム研究 その① 8. ペーパーアイテム研究 その② 9. ペーパーアイテム研究 その③ 10. 希望企業研究まとめ ① 11. 希望企業研究まとめ ② 12. 希望企業研究まとめ ③ 13. 希望企業研究まとめ ④ 14. 発表 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかり研究させる。

科目名	ブライダル接遇マナーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	和田 香織（実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	この授業は秘書検定 2 級合格を目指しています。 ただし、秘書になる事が目的ではなく、秘書検定を通して社会人として必要な常識やマナーを学んでいきます。 社会に出たときになぜマナーは必要なのかを考え、正しい知識を身につけます。 受験に関するコツや授業内容のポイントもお伝えしていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（秘書検定について・社会人としての良識） 2. 仕事に取り組む姿勢 3. 身だしなみ 4. 秘書の心得 5. 上司のスケジュール管理 6. 会社と経営組織 7. 経営・マーケティング 8. 財務・会計 9. 税務・経営法務 10. 好ましい人間関係 11. 断り方と苦情対応 12. 敬語の種類と基本ルール 13. 接遇表現の使い方 14. 来客の案内・紹介 15. 前期振り返り
使用テキスト ・教材等	早稲田教育出版 秘書検定 2 級集中講義 改定版 早稲田教育出版 秘書検定 2 級実問題集 2023 年度版
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内で指示した課題・内容について予習、復習する事。
履修に 当たっての 留意点	授業での質疑応答には積極的に参加する。

科目名	ブライダル接遇マナーⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	和田 香織（実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	この授業は前期に引き続き秘書検定 2 級合格を目指しています。 秘書検定を通して社会人として必要な常識やマナーの知識を活かして実践していきます。 言葉遣いや知識の定着をはかります。 なぜマナーが必要なのか、職場内、社会の中での心遣いをどう表現していくのかを考え、 社会に出たときに実践できる力を身につけます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話の受け方・取り次ぎ方 2. 慶事・弔事のマナー 3. 贈答マナー 4. 会議・会合の基礎知識 5. 日程管理のポイント 6. ビジネス文書の種類 7. 社外文書・社交文書の決まり事 8. グラフの書き方 9. 文書の受信・発信 10. 「秘」扱い文書の取り扱い 11. 電子メールとファックスの使い方 12. 名刺の整理 13. オフィスのレイアウトと環境整備 14. おさらい 15. 1 年を振り返って
使用テキスト ・教材等	早稲田教育出版 秘書検定 2 級集中講義 改訂版 早稲田教育出版 秘書検定 2 級実問題集 2023 年度版
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内で指示した課題・内容について予習、復習する事。
履修に 当たっての 留意点	授業での質疑応答には積極的に参加する。

科目名	ドレスクリエイティブ I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	中村 和代 (実務経験: (株) 万兵デザイナー 5 年・(有) プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有) よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株) バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 6 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の業務多様化に伴い、ドレス・スタイリングに関する感性を磨くため、ソーイング基礎知識 (実習)・ブライダル小物作成 (実習)、基本姿勢や立居振る舞い (演習)などを学び、お客様へのホスピタリティーや様々なご要望に臨機応変に対応できるプロフェッショナルを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 洋裁道具の用途と使い方 2. 基礎縫い<運針> 3. 基礎縫い<まつり縫い各種> 4. 基礎縫い<まつり縫い各種> 5. 基礎縫い<ホック・スナップ> 6. 基礎縫い<ループ各種> 7. 基礎縫い<ボタン付け> 8. オリジナルピアス制作<アクセサリ基礎知識・道具説明> 9. オリジナルピアス制作 10. オリジナルピアス制作 11. ドレス知識<ドレス歴史・ディテール> 12. ドレス知識<ボディタイプ・メンテナンス> 13. ウォーキング<基本姿勢・重心のとり方・ウォーキング> 14. ウォーキング<ポージング・表情・ドレスの扱い・和装の場合> 15. 調整予備日
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを制作し配布する。
成績評価方法 及び 基準	制作物の提出及び完成度と授業態度、作業中の整理整頓などを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	苦手意識は持たず、全ての経験は糧になるという姿勢で積極的に挑む。

科目名	ドレスクリエイティブ I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	中村 和代 (実務経験: (株) 万兵デザイナー 5 年・(有) プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有) よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株) バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 6 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	カジュアルウエディングなど、様々なお客様のご要望にお応えできる人材となる様に、またブライダル展示会などにも対応できるよう、アクセサリーの制作 (実習) やディスプレイ (演習) を学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヘアーアクセサリ制作<造花知識> 2. ヘアーアクセサリ制作 3. ヘアーアクセサリ制作 4. ヘアーアクセサリ制作 5. カルトナージュ制作 6. カルトナージュ制作 7. カルトナージュ知識 8. カルトナージュ制作 9. カルトナージュ制作 10. カルトナージュ制作 11. カルトナージュ制作 12. カルトナージュ制作 13. カルトナージュ制作 14. ディスプレイ基礎知識 15. ディスプレイ基礎知識
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し配布する。
成績評価方法 及び 基準	制作物の提出及び完成度と授業態度、作業中の整理整頓などを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	苦手意識は持たず、全ての経験は糧になるという姿勢で積極的に挑む。

科目名	和装着付実習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	天野 真由子 (実務経験：着物着付け講師歴 13 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着られるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらう。(実習) 加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着付けのデモンストレーション 2. 着付け教材の使い方 長襦袢・着物のたたみ方 3. 着物の着方(前板まで) 4. 着物の着方(前板まで)復習 5. 蝶結び 6. 蝶結び(復習) 7. 貝の口 8. 貝の口(復習) 9. 浴衣の着方・蝶結び・貝の口(復習) 10. 試験練習 11. 実技試験 12. 片流し 13. 変り貝の口 14. 片流し・変り貝の口(復習) 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	きものスタイルアカデミー教本 初等科
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)・帯結び(蝶結び又は貝の口) 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑むこと。

科目名	和装着付実習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	天野 真由子 (実務経験: 着物着付け講師歴 13 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着られるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらおう。(実習) 加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着物の着方(復習) 教材枕の使い方 2. 全通柄名古屋帯のお太鼓 3. 全通柄名古屋帯のお太鼓(復習) 4. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓 5. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓(復習) 6. 総復習 7. 試験練習 8. タイムレッスン 9. 実技試験 10. 名古屋帯のふくら雀(お相手) 11. 名古屋帯のふくら雀(お相手) 12. 講義(着物・帯の種類) 13. 講義(着物のマナー) 14. 袋帯の二重太鼓 15. 袋帯の二重太鼓(復習)
使用テキスト ・教材等	きものスタイルアカデミー教本 初等科
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価: 着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)、帯結び(名古屋帯のお太鼓)、制限時間 15 分 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑むこと。